

わくわくどきどきの2日間
です！第42回みの池田ふる
さと祭開催

10月5日(土)・6日(日)

池田町庁舎・中央公民館駐車場 一帯

第42回みの池田ふるさと祭を今年も盛大に開催します。保育園キッズダンスや郷土芸能、池田少年少女合唱団による歌の披露ほか、メインイベントであるぎふチャンラジオ公開生放送では田川寿美さんが出演します。さらに今年の新しいイベント、池田町商工会女性部による「郡上踊り」や池田町商工会青年部主催の「風船太郎イベント」なども行われ、大人から子どもまで、皆さんが楽しめる内容となっておりますので、ぜひご家族そろってお越しください。

9月の成年後見・権利侵害
相談室

☆いつでも電話・メールでの相談をお受けいたします。

☎090-7851-9301

メール nishiwaki-socialwork@ezweb.ne.jp

◆明和義民感謝祭◆

10月5日(土) 午後5時

大津谷公園周辺にて開催！

☆詳しくはチラシをご覧ください☆

☆電話・メールで予約して、個別直接相談をご希望される方は予約の連絡をいつでもお受けできます。

場所 池田町障害福祉サービス事業所

「ふれ愛の家」の宿泊訓練施設ふれ

愛ホーム「大室荘」

日時 予約時にご希望をお聞きして決

めます。

費用 無料です。

内容

・成年後見制度利用について、申し立てについての質問・相談

・福祉サービスについての質問・相談

・生活上での困りごとのご相談にのります

※社会福祉の専門職 社会福祉士

(ソーシャルワーカー)がご相談に

のります。

主催 揖斐郡成年

後見・権利擁護

センター(任意

団体)

代表 社会福祉

士(コミュニティ

ソーシャルワー

カー)西脇 隆

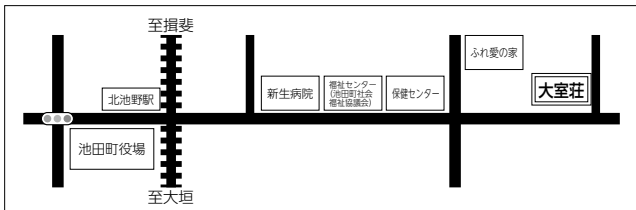
(一社) 岐阜県

社会福祉士会

権利擁護セン

ターばあとなあ

会員



エンディングノートを書いてみませんか？

「終活」最近よく目にする言葉です。これは「人生の終わりのための活動。人生の最期を迎えるためのさまざまな準備や、そこに向けた人生の総括」を意味します。

その象徴とも言える「エンディングノート」は、昨今、書店などでたくさん売られるようになりました。

人がいつ災害や事故に巻き込まれたり、病気を発症したり、判断力が低下するかは誰にも予測ができません。思いがけない「もしもの時」が訪れた時、その人自身だけでなく、家族などの身近な人を助けるためには準備が必要です。

しっかりと考えて、気持ちを整理できる今のうちにエンディングノートを書き始めてはいかがでしょうか？

どんなタイプのエンディングノートでも構いませんが、伝えるべき情報が載っているものを選びましょう。

ご本人の情報、親戚・友人の連絡先、財産や保険のこと、医療や介護に関する希望、葬儀やお墓のことなどが書けると良いでしょう。

始めのページから書く必要はなく、書いておきたいところから始め、気が向いたときに少しずつ書き進めていくのがおすすめです。

一度書いても、時間が経てば気持ちが変わっていくものです。何度でも書き換えることができます。

また、せっかくなので、万が一のときに、手にとって見てもらえなくては意味がありません。個人情報が入り込んでいる大切なものですが、もし書いたら、そのノートの存在と、保管場所は、家族などの身近な信頼できる親しい人に伝えておくことも大切です。

9月1日は「防災の日」。「終活」はもちろんです、いつ起きるかわからない災害の備えのひとつにもなり得るエンディングノート。書き始める日、また見直してみる日としてみてはいかがでしょうか？

介護予防・介護保険のご相談は池田町地域包括支援センターへ

☎45・8123